

事前評価個表

整理番号	16
------	----

地域（地区）名	まるやまがわ 円山川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	兵庫県	対象市町村	とよおかし 豊岡市ほか4市町
事業実施期間	R2年度～R6年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、県北部に位置する但馬地域の3市2町で構成され、県土総面積の25%を占めている。</p> <p>本地区の森林面積は177千ha、対象民有林は170千ha（森林全体の91%）、うちスギ・ヒノキを主体とする人工林は89千ha（人工林率52%）となっており、県平均の人工林率43%を上回っている。</p> <p>人工林の齢級別構成は区齢級以上のスギ・ヒノキ林等の面積が83%を占めており、成熟期を迎えた人工林について、資源の循環利用により健全な森林を育成するとともに、併せて二酸化炭素の吸収源対策や生物多様性の保全等の公益的機能を高度に発揮する多様な森林を育成することが必要な地区となっている。</p> <p>しかしながら、林業経営の収益性の悪化やシカ等の獣害の拡大により、間伐等の森林整備の遅れや主伐・再造林の未実施による林業サイクルの停滞が起こるなど、森林の有する多様な機能の低下に伴い、近年の異常気象による山地災害の発生等が危惧されている。</p> <p>このため、森林整備の基盤となる林業専用道の改良や森林整備の担い手となる林業事業体の育成と併せて、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため円山川地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、本事業において効率的な施業に不可欠な路網の整備と搬出間伐や主伐・再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,190ha 人工造林、下刈り、枝打ち、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：林業専用道 改良 1,500m</p> <p>総事業費：4,206,166千円（税抜き3,823,787千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=3.28</p> <p>（総便益(B)=18,020,518千円、総費用(C)=5,487,503千円）</p>
評価結果	<p>必要性：近年の集中豪雨等による山地災害の発生状況から、森林の多面的機能の維持・向上を目的とした間伐等の適切な森林整備が求められる地区である為、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：本事業を活用した間伐等の適切な森林整備は、森林の多面的機能の確保及び原木の安定供給につながることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：兵庫県

地域(地区)名：円山川まるやまがわ

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,593,848	
	流域貯水便益	1,166,253	
	水質浄化便益	4,519,554	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,410,698	
環境保全便益	炭素固定便益	4,546,750	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,252,278	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	234,455	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	232,215	
維持管理費縮減便益		64,467	
総 便 益 (B)		18,020,518	
総 費 用 (C)		5,487,503	
費用便益比	$B \div C = \frac{18,020,518}{5,487,503} = 3.28$		

森林環境保全整備事業 円山川地区（兵庫県）

